

平成 18 年度第 2 回（5 月）理事会議事録

◇日 時：平成 18 年 5 月 11 日（木）午後 6 時 30 分～7 時 50 分

◇会 場：社団法人大阪府臨床検査技師会事務所

◇出席者：森嶋、今井、辻、吉本、運天、大垣、竹浦、荒木、田畑、高橋、出野、井戸田、山田、北中、東野、田中

◇欠席者：高田、清水、岡本、山内

◇議 長：森嶋

討議内容

I. 行動報告（4 月分）

別紙参照

II. 経過報告

1. 日臨技

- ・特記事項無し

2. 近臨技

- ・特記事項無し

3. 事務局

総務部 部会開催（4 月 11 日）

- ・4 月理事会の開催準備を行った。
- ・平成 18 年度第 1 回定期総会の開催準備を行った。
- ・平成 18 年度役員部員の役割分担調整を行った。
- ・平成 17 年度収支計算書の作成を行った。
- ・大臨技ニュース 5 月号の発行を行った。
- ・大臨技ホームページの更新を行った。

渉外部 部会開催（4 月 18 日）

- ・平成 18 年度役員部員の役割分担を確認した。
- ・18 年度第 1 回献血推進活動の報告（受付 73 名・献血 62 名）を行った。

4. 事業局

情報組織部 部会開催（4 月 20 日）

- ・収支管理講習会の総括と今後の方向性を協議した。（参加者 42 名）
- ・技師長会の運営を協議した。
- ・平成 18 年度第 1 回定期総会の出席要請と当日出欠確認を行った。

地区事業部 部会開催（4 月 21 日）

- ・第 8 回大臨技フォーラム（6 月 17 日）について協議した。6 月 7 日に最終打ち合わせを行う。

学術部 部会開催

- ・報告なし

III. 他、報告

1. 平成 19 年度近畿地区学会共同開催連絡会議について

4 月 14 日、開催され、プログラム委員会より、技師会からの合同シンポジウム案の提示があった。企画委員会より演題募集について・一般演題は WEB にて募集する（技師会は JAMTIS を利用し大臨技のサーバーを使用、検査医学会は独自のシステムを使用して登録、抄録作成を行なう）・演題の登録については最終的に JAMTIS で総合的にまとめて行い、抄録を作成する（演題のカテゴリーは技師会に合わせる。カテゴリーに合わないものはその他で登録）・抄録集は 3 団体（技師会、日本臨床検査医学会、日本衛生検査所協会）分を一冊にまとめて運用すること

とし、WEBでの公開と会場配布のみとして会員への発送はしないとした。プログラムは冊子を全会員に配布する企業趣意書について、収益活動面でシンポジウムへの企業の協力を得るとし、セミナー会場費は前回の大阪学会の例を基本にして、収容人数規模 200 名以上を 30 万円、100 名以上を 20 万円、抄録登録料 5 万円として企業にスペースを提供する。企業への協力依頼は今年の 12 月までに稟議書をあげることを踏まえて行う。企画運営について、学会袋、ネームホルダーは 5000 個準備する(医学検査学会、高橋先生承認済み)。シンポジウム案として、臨床の医師と技師の話が整合性をもたらす内容のもの、および独自にセッション考える。今後の予定として、6 月：具体的なテーマを掲示、8 月：テーマに沿った内容をほぼ決めておく(シンポジストの選出)、10 月：テーマ内容決定、12 月：近臨技の会合でシンポジウム案の合意を得て、シンポジスト正式依頼要請、とする。

2. 国際貢献専門委員会について

先月末に 6 カ国へ募集が出された。6 月上旬には相手国側より返事がある。その時点でどのような研修員が来るか判明する。研修内容に関して、集団研修(大阪大学保健学科で基礎的な研修)と個別研修(各病院にて臨床的な関りについて研修)を行う。講師に関して、13 日の会議でほぼ決定する。実習指導に関しては、近臨技の微生物部会より各府県で募集する。個別研修は約 2 週間、各施設で行う。(大阪：関西医科大学附属枚方病院・大阪府立成人病センター・近畿大学医学部附属病院、和歌山：和歌山医科大学附属病院・紀南総合病院、奈良：奈良医科大学附属病院、滋賀：滋賀医科大学附属病院が決定済み) 5 月 20 日より現地へ調査団が派遣される。JIMTEF：河合忠氏、技師会：立脇憲一近臨技会長、大臨技国際貢献専門委員会：永井旬子氏、が参加し 7 月の教育セミナーにて学生にむけて報告する予定。大臨技会員に向けては 10 月 7 日午後開催予定の会員交流会(地区事業担当)にて、研修員の出席を検討する。

3 月の近臨技理事会で立ち上げた国際部の西アフリカへの国際貢献事業について、ここ一年間は相互乗り入れを行い将来的に大臨技より近臨技へ引き継ぐ。国際医療協力の必要性・重要性について、5 月 13 日に近臨技国際医療協力セミナーを開催する。

3. 「世界陸上」協力事業について

4 月 25 日、「世界陸上 2007 大阪大会」組織委員の訪問を受け、長居競技場で 2007 年 8 月 25 日～9 月 2 日開催される世界陸上 2007 大阪大会への協力依頼があった。協力内容については、まだ不明ではあるがドーピング検査等の協力要請が予想される。

4. その他

「看護の日」(5 月 11・12 日開催)について、本日 11 日は、検尿検査 25 名・血糖検査 111 名の参加があった。尿検査について、対象が若い女性が多いため、来年度は検討する。

新役員就任挨拶について、大臨技ニュースへ掲載するために、新役員は原稿を 300 文字程度でまとめて、山田理事へ今月末までにメールにて送信を行う。

4 月 29 日に日臨技にて、平成 18 年度検査研究部門会議があり近臨技代表として森嶋会長が出席した。9 月の日臨技理事会で日臨技独自の認定に関するの答申案をこの部会より提出する。7 月第 2 土曜日に全国より集まり討議する。近畿地区は検査センター関係と大阪大学の社会人大学の情報をまとめる。5 月末までに森嶋会長へ日臨技独自の総合管理者(検査責任者)が必要と思われる認定案があればメールにて送る。平成 18 年度総合管理部門研修会「だれでも出来るチーム医療実践研修会」を平成 19 年 2 月 11・12 日に神戸常盤短期大学で開催する。近臨技チーム医療推進委員会が中心で行う。

名刺を作成する為に新役員・役職変更役員・職場等の変更があれば運天理事へ申し出る。

IV. 議題

1. 平成 18 年度第 1 回定期総会について

運営スケジュール案の変更点について説明があった。役員交代時期のため、名誉会員に出席を依頼し、開会の辞の前に名誉会員出席者の紹介と挨拶を行う。役員歓送迎会を 20 時よりあべのルシアス「がんこ」にて開催予定(会費 3000 円)。名誉会員及び顧問が総会・歓送迎会出席の予定。総会への各部世話人の出席予定の報告があった。

2. 事務職員について

原川氏より 10 月末退職要望があり臨時常務理事会を開催した。ハローワークへ応募を行い 5 月 1 日に面接を実施し、岩崎和子 仲野けい子の 2 名を内定した。大阪医療技術学園専門学校の学生アルバイトを 5 月末までとする。

議事録作成等を業務に含め現在の総務部業務の軽減を図る。経費的には人件費総額はほぼ変わらない。5 月 17 日

より出勤予定。理事会・総会への出席を要請する。

3. その他

- ・ 常務理事会へ会計担当の荒木理事がオブザーバーとしての出席を求められ、承認された。
- ・ 堺市の政令指定都市への移行による施設等の住所変更届について、地区事業部にて原稿作成を行い大臨技ニュースへ掲載する。
- ・ 平成 17 年度決算について、不明点があれば荒木理事へ連絡する。

以上